

令和7年度 第1回地方創生推進会議 要録

日 時：令和7年10月15日（水） 19：00～20：30

場 所：郡上市役所本庁舎 4階大会議室

出席者：（委員）井俣 潤、小池 敏、出崎 善久、兼山 吉枝、熊崎 弘一、鈴木 和喜、
稲葉 光紀、恩田 邦生、置田 優一

（事務局）河合室長、林課長、田仲主任

（建設部）三島課長、日置係長

欠席者：大江 裕之、浅見 和人、名畑 周

傍聴人：1名

1. 開会

2. あいさつ（会長）

3. 協議事項（進行：会長）

会長：それでは、協議事項（1）「第2期郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定したK P Iの進捗状況について」事務局より説明を求める。

（説明）

事務局②：（資料により基本目標1を説明）

（意見等）

会長：基本目標1に関してご意見、ご質問はないか。

委員①：ビジネスマッチングの契約件数に関して、郡上市商工会では展示会等でブースを用意して会員の皆様に参加いただいている。商談が進んだ、繋がりができたというような声があるので取り組みを継続したいと思う。廃業予定者と事業承継希望者とのマッチングに関しては、県内で比較しても郡上市は成績がよく、着実な成果が出ている。

会長：事業承継はどのような状況であるか。

委員①：地元同士の割合が多いと感じる。親子での承継の場合もある。

会長：観光分野について、100人規模の団体客が宿泊して食事をする場所がないという課題があり、市全体で環境整備が必要。合宿等でも、まとまって宿泊できないとの声があり、その辺りの仕組みづくりができると良いと考える。また、近年、インバウンドの影響で欧米の旅行客が増えており、滞在期間中でどれだけ消費していただけるかが今後の課題になってくる。

委員②：観光連盟が観光レポートで、8月の宿泊者数が前年の同月と比べ105%と増加しているが、一方でインバウンド客は68%に留まっている。民泊や簡易宿舎での宿泊状況が把握できていない状況にあるため、実際は増えているように感じる。また、観光連盟がSNSでの発信を積極的に行っており、閲覧数は伸びている。

S N S から観光への波及効果があるというのは数字で見えている部分もあるため注力する必要がある。

会長 : 実際カウントできていないインバウンド客は多いと感じる。S N S に関しては、リピート率も高く、今後の戦略として必要となる。

会長 : 他に意見はないか。なければ事務局より引き続きの説明を求める。

会 議 : (意見なし)

事務局② : (資料により基本目標 2 を説明)

(意見等)

会長 : 基本目標 2 に関してご意見、ご質問はないか。

会長 : K P I にふるさと寄付の件数があるが金額は年間でどの程度あるか。

事務局③ : 昨年度は 3 億円弱である。今年度は 9 月で 1 億 5 千万円は超えている。

会長 : 地域おこし協力隊は 3 名とあるが現在の状況はどうか。

事務局② : 令和 6 年度の実績のため 3 名としているが、相生地域は令和 6 年度をもって退任され、令和 7 年度の実績としては 2 名である。

会長 : 他に意見はないか。なければ事務局より引き続きの説明を求める。

会議 : (意見なし)

事務局② : (資料により基本目標 3 を説明)

(意見等)

会長 : 基本目標 3 に関してご意見やご質問はないか。

会長 : ファミサポ提供会員数において、提供会員の処遇改善とはどのような内容か。

事務局② : 提供を受ける側のニーズの多様化により、提供する側の対応が難しい状況にあるため、サポートしやすい環境整備といった改善となっている。

会長 : 他に意見はないか。

委員③ : G o o d 郡上プロジェクトにおいて高校生がアイデアを出すだけでなく、もっと実現できるようになると良いと考える。

事務局③ : 8 月末に美並町にて音楽フェスティバルが開催されたが、G o o d 郡上プロジェクトで提案されたイベントである。当時高校 3 年生の生徒が様々な支援を受け、卒業後に取り組みを実現された事例である。

会長 : 他に意見はないか。なければ事務局より引き続きの説明を求める。

会議 : (意見なし)

事務局② : (資料により基本目標 4 を説明)

会長 : 基本目標 4 に関してご意見、ご質問はないか。

委員④ : 概ね目標達成とあるが、インターネット加入件数のうち一番多いのは 1 0 M コースであるが、今後の技術発展によっては 1 0 M だと劣るため、1 0 0 M 以上への加入は達成できる数字である。

会長 : 4 K や 8 K のテレビは普及しているのか。

委員④ : 8 K の放送番組は 1 社しかない。ただ、現在はハイビジョンで安いものが出ているという状況ではある。また、普及率のアンケート結果においては自分の見てい

るテレビが4Kなのか、そうではないのかわからない方が一定数いらっしゃるの
で、そのあたりもアンケート結果に影響している。

委員⑤：公共交通に関しては、車両の老朽化や運転手の技術に問題があると思われる。

会長：運転手確保の状況はどうか。

事務局③：路線バスは減便するまでには至っていないが、交通事業者はスクールバスの運行
を受託しており、全体として運転手不足の状況である。

会長：長良川鉄道に関してはどのような状況か。

事務局③：長良川鉄道に関しては、まずは減便し、効果を見ながら次の手を考えていく形で
動いており、引き続き長良川鉄道のあり方を検討していく。

委員⑥：生活支援に関して、シニアクラブ等の団体活動の継続が困難な状況であり、集い
の場が衰退してきていると感じる。現在は、生活支援コーディネーターを中心に
支援が必要な方々に対してサポートできる仕組みづくりを進めている状況であ
る。

会長：他に意見はないか。なければ事務局より引き続きの説明を求める。

会議：（意見なし）

事務局②：（資料により基本目標5を説明）

会長：基本目標5に関してご意見、ご質問はないか。

会長：庁舎の空調整備は実績に含まれているか。

事務局②：令和6年度の実績のため、今回は含まれていない。

会長：他に意見はないか。なければ事務局より引き続きの説明を求める。

会議：（意見なし）

事務局②：（資料により基本目標6を説明）

会長：基本目標6に関してご意見、ご質問はないか。

会長：地域運営組織は、各地域で進んでいるのか。

事務局①：各地域協議会の中で取り組みや方法を検討いただいている。市としても推進に向
けた支援をしていきたい。

会長：地域協議会は今後どうなるのか。

事務局①：地域協議会のなかで地域運営組織の形成というところを検討いただいております、地
域協議会が運営組織となるのか、別の組織が形成されるのかは、地域次第ではあ
るが、協議会の中で意見交換をして取り組んでいく。

委員②：産業支援センターに対して人手不足に関する声が多く寄せられている。また、昨
年度に産業支援センターが実施したアンケートによると、働く意欲がある求職者
が多数存在していることが判明した。このような方はフルタイムで働けないが、
短期間、短時間であれば働けるという状況であった。そのため、求職者と雇用側
のミスマッチを緩和することが出来れば、人手不足の解消につながるため、産業
支援センターが今年度9月から12月までの期間限定で「郡上お仕事マルシェ」
を開設した。今後、多様な働き方に対するアプローチもうまく活用できると考え
る。

会長 : 現実的な取り組みであると思う。子育て世代は働き方に制限がかかるため、マッチングがうまくいくと良い。弊社でも年収の壁が課題になっており、働きたいのに働けない方がいる。その辺りの意見もお伺いしたい。

委員⑦ : 確かに年収の壁により働き方を制限される状況は見受けられる。先ほど紹介されたお仕事マルシェに関しては、気軽に仕事を探したいという希望もあって始めたという。少しでも人手不足の緩和に繋がれば良いと思う。

会長 : 関連して意見はないか。

委員⑤ : 森林組合では、子どもがいる方の働き方は比較的自由にしており、男性の育休についても、積極的に取得されている状況である。

会長 : 働きたい人はいるので、あとはマッチングや雇用条件をどうするかだと考える。最低賃金は決まっているので、あとは企業がどう努力するかであると考えている。郡上市は中小企業が多いのでその辺りは懸念している。

会長 : 他にご意見やご質問はないか。

会議 : (意見なし)

会長 : 意見が無いようなので協議事項(1)「第2期郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定したK P I の進捗状況について」の協議を終了する。

続いて、協議事項(2)「地域再生計画(地方創生道整備交付金)で設定したK P I の進捗状況及び地域再生経計画の変更について」所管課から説明を求める。

(説明)

建設部 : (地域再生計画について説明)

: (地域再生の変更及びK P I の進捗状況について説明)

(意見等)

会長 : ご意見やご質問はないか。

委員⑤ : 素材生産量は地域再生計画に記載の林道分ということか。

建設部 : 道路整備全体の生産量である。

会長 : 他にご意見やご質問はないか。

会議 : (意見なし)

会長 : 意見が無いようなので協議事項(2)「地域再生計画(地方創生道整備交付金)で設定したK P I の進捗状況及び地域再生経計画の変更について」の協議は終了する。

協議事項に関しては終了したが、会議を通してご意見やご質問はないか。

委員⑧ : 今年度、トマトの学校に若い方が入り活動をしているが、親御さんも応援されているようで、農業に対して親が応援する環境ができていると感心した。一方で、親と同居すると世帯年収があるので、新規就農者の場合は補助金をもらえないのが残念であるため、改善を検討いただきたい。

会長 : 他にご意見やご質問はないか。

会議 : (意見なし)

会長 ：意見が無いようなので協議は終了する。

4. その他

(進行を事務局に交代)

事務局①：(郡上市まち・ひと・しごと・創生総合戦略及び地方創生推進会議の今後について
説明)

5. 閉会

(終了 20時30分)